

BOOK PICNIC 本と出会い、本を語る、人と出会い、人とつながる里山のブックフェス

三重県 多気町立勢和図書館

基本データ

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 所在地 | 三重県多気郡多気町朝柄 2889番地 ふるさと交流館せいわ内 |
| 職員数 | 4人 |
| うち司書数 | 4人 |
| 蔵書数 | 81,012冊 |
| 利用登録者数 | 12,499人 |
| 年間貸出冊数 | 68,320冊 (児童用図書貸出数 9,780冊) |

テーマ・活動のねらい等


【テーマ】地域の課題解決、まちづくり

【活動のねらい】

- 平成30年度に引き続き、今年度で2回目の実施となるが、会場を「ふれあいの森 勢山荘」(宿泊施設、公園等からなる複合施設)から多気町立勢和図書館(館外敷地含む)とすることで、図書館の社会的な役割を認知・体験してもらう機会とした。

取組・活動の概要

- 「本と出会い、本を語る、人と出会い、人とつながる里山のブックフェス」をテーマに、公共図書館、私設ミュージアム、大学、書店、地域がつながっておこなったブックイベント。



今年は勢和図書館 芝生広場で開催!!

本と出会い、本を語る、人と出会い、人とつながる里山のブックフェス

BOOK PICNIC

2019 10.12(土)

10:00-15:00 多気町立勢和図書館 (多気町朝柄2889)

BOOK出店・展示・出展

古本屋ぼらん(伊勢市)
読研舎(伊勢市)
トンガ文庫(津市)
古書からずらり(名張市)
高山松木店(津市)
Café KASABOOKS(津市)
CAFEめがね書房(大塚町)
くはつクンバー東京
ふるさとを創る人A.O.C. 文化館「NAGI」(内務会)
読のふるさと「katala」(wasabook)
読書ミュージアム
少女まんが館TAKI1735(多気町)

BOOKツアー「ギャラリートーク」

読研舎主催の読書会とは異なる趣向を凝らしたこの日限定のスペシャルBOOKツアー! 本10冊半(先着5名様)
本を楽しむワークショップ
「本を語る」作り、大人満足
本の相談コーナー/10時~12時

FOOD & DRINK

にこぼん(大がね町)
B's shop(自家焙煎コーヒー)
チムニーサンド(ザットアップ)
おひのてん(おひのてん)
oyatsuyoi+109(おひのてん)
café1735(おひのてん)

※上記の内容は予告なく変更する場合があります。

キャンプチェアやレジャーシートのご持参をおすすめします。

このイベントは「令和元年度滋養学大学チャリティプロジェクト」の一環です。

●主催：多気町立勢和図書館、滋養学大学附属図書館、ふくくら倶楽部、少女まんが館 TAKI1735
●協賛：滋養学大学、多気町、多気町教育委員会 ●協力：合同会社どりり
★ tupepa.tupepa 紙本ライブ in 勢和図書館も同日開催!! 詳しくは裏面へ

ポスター

(1) 書架をめぐるギャラリートーク

- 「旅に出よう! -図書館めぐるよ」のテーマでブックトークを行いながらの書架案内を実施した。「限定5名」に集まった「20名」が同テーマで森羅万象、様々な本が見つかることを体験。



書架をめぐるギャラリートーク

(2) “課題解決”にはたとえばほら!ブックトーク

- ① 手品×本「思いこんでいない?~やわらかい頭で考えてみよう!」
 - ② お産×本「カラダ・からだ・カラダ!」
 - ③ お山×本「やまにはいって」
- それぞれの専門家によるお話のあと、ブックトークでセッション。司書を使い、広げ深めることを体感してもらい、課題解決のために図書館をつかうことのきっかけになればと実施。

(3) “こもれび本”キャンペーン

- 木漏れ陽の下で読みたい一冊を持ち寄る読書会の開催や、SNSでの投稿を呼びかけた。
- また、図書館でコーナーを設置し本を展示した。



こもれび本展示

(4) 本の相談コーナー

- 大学教授「BUKVARNA」氏による“本のことならなんでも相談”コーナーを設置。

(5) リトルプレス特集

- 県内リトルプレス「NAGI 風」「Kalas」のバックナンバーを図書館蔵書も含め展示。

(6) 菜づくりワークショップコーナー

- 手づくり布雑貨の販売・ワークショップを手掛ける団体による“変身する菜”づくりワークショップを実施した。

(7) 「新刊書店・古書店・私設ミュージアム」コーナー

- 県内書店等によるこだわりセレクトの新刊書・古書の展示や販売。

(8) 「フード」コーナー

- 近隣ベーカリーやカフェが出店。人気のキッチンカーも登場。



ブックフェス会場の様子

取組・活動の工夫や特徴

- 図書館の書架をめぐっての「ギャラリートーク」、課題解決のための「ブックトーク」を新たに企画し、図書館の社会的な役割を認知・体験してもらう機会とした。

取組・活動の成果や今後の展望

- この企画を通じて連携した様々な団体とは今後も協働し、それぞれの発信力を活かして、図書館が「地域の学びの場」「出会いの場」であること、「皆で創り出す」「まちをつかっていく」「拠点」であること、それが民主主義社会構築のためには必須であることを伝え、図書館の継続的な利用につなげたい。